

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 健康推進課			内線等	8078
事務事業名	食生活改善推進育成事業				事業コード	1. 一般事務事業(ソト事業)	
根拠法令等	地域保健法				A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	保健
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市民に
手 段	食生活の改善に係わる各種事業を実施することによって
想定する成果	市民の健康増進に寄与していく。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
男性の料理教室の回数と参加者数	2回	33人	3回	75人	3回	60人
高齢者食生活改善事業の回数と参加者数	6回	209人	10回	235人	10回	255人
ヘルスサポーター21の回数と参加者数	5回	88人	4回	103人	4回	100人
親子料理教室の回数と参加者数	1回	19人	1回	42人	2回	60人

成果指標

成果指標名	1回当たりの参加者数
成果指標の説明	年間参加者数 / 年間実施回数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		24.9人				25.3人				25.0人			
成果指標													
事業費	事業費	781				829				844			
	人件費	6,227				5,467				5,492			
	(人数)	正規	0.8	非常勤		正規	0.7	非常勤		正規	0.7	非常勤	
	合計	7,008				6,296				6,336			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	7,008				6,296				6,336			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	3	ボランティアの食生活関連事業での活躍は期待以上で、達成度は高い。
経済効率性	3	3	3	3	試食作りや食生活のアドバイス等保健事業の協力に対して、ボランティアに協力してもらうため、経済効率性は高い。
事務効率性	2	2	3	3	職員は専門知識の提供等で、事務効率性には問題はない。
必要性	3	3	3	3	保健事業に行政とボランティア団体と協働で事業展開を行っており、必要な事業である。
小計	10	10	11	12	
施策への貢献度	2	-	2	-	食育の推進に貢献している。
合計	12	10	13	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	A	参加者は増加しており、参加者の評価も良好であるが、食生活改善推進員の会員数が減少している。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
独居老人昼食会の目的を見直し、食生活について市民により身近に届けられる事業に改善していく必要がある。
上記改善点の実施状況
平成19年度から対象者や実施方法を各地区で検討し、地区の特性に合った内容で実施できた。

今後さらに改善すべき点

会員数が減少しているため、会員数を増やし活動を充実していくこと。

平成21年度予算に反映する項目

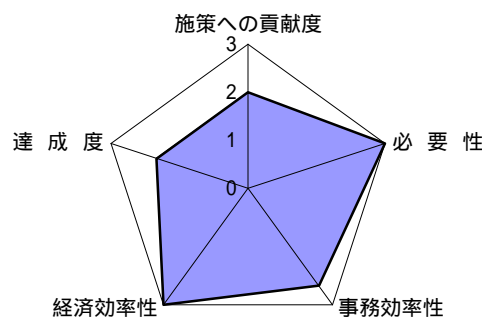
食育について勉強していることから子どもを対象とした活動の場を広げていきたい。
--

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点